

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学 校 関 係 者 意 見 等	評価Ⅲ
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む ・コロナの影響は少なくなってきたが、現状でやれることを考えて、工夫し、体育大会、図工展など行事等で、子どもたちが生き生きと活動する姿が見られた。 ・あまっ子ステップアップの結果については、来年度以降も授業や学級経営・学年での取り組みに生かしてほしい。	3
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る ・登下校時、大きな声で気持ちのよいあいさつをできる児童がいる。うれしい限りである。 ・今年度も、情報モラルについて授業を行ったということだが、報道で見る限り、SNSでのいじめやトラブルなどは喫緊の課題であると考えている。学校では見えにくいことではあるが、情報モラルやマナーの授業、学級での指導を継続してほしい。	3
3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む ・今年度もコロナ禍ではあったが、「むかし遊び」や地域学習など、協力できることがあれば積極的に声をかけてほしい。 ・コロナで学校行事の多くがなくなったのが残念だった。来年度も、工夫しながら保護者・地域が参観できるよう機会が増えるようお願いしたい。	3
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る ・地域の自主防災(開錠)訓練を今後も続けていく予定である。 ・登下校の見守りで児童と接しているが、交通ルールは守れている児童が多い。一方で、ルールを守れなかったり、下校時・放課後の地域での過ごし方に問題がある児童も見られる。地域からも適宜声掛けをしていきたい。	3
■教育目標 ・教育目標の具現化には、地域や家庭の協力も必須である。地域でも啓発に協力したい。	3
■研究テーマ ・学年間や児童によって学力の差が出ることは仕方がないかもしれないが、どの児童も学ぶ意欲が持てるよう、学年間で連携をした対応を先生方にはお願いしたいところである。	3
■	
評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	A
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B